

TOPICS!

“UFOのまち”で遭遇する

不可解な誘拐事件

SKIPシティ国際映画祭
最高賞W受賞!

INTRODUCTION

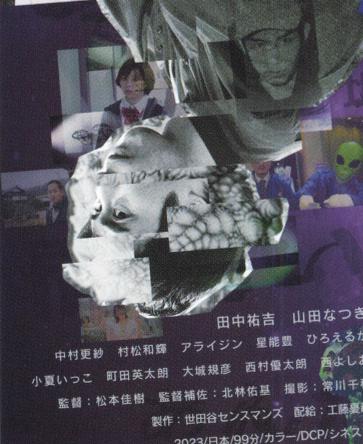
KIPシティ国際Dシネマ映画祭2023で異例の最優秀作品賞とSKIPシティでアワードをW受賞、複数の国内映画祭でも高評価を受けている『地球星人(エイリアン)』は空想する。本作は、日本映画界に新風を吹き込んだ『カメラを止めるな!』の製作費の約三分の一、メイラスタッフわずか3人という超インディーズチームによって制作された。SKIPシティ映画祭で審査委員長を務めた中野量太監督も「僕に撮れない映画でした。新しい才能、監督がでてきた。嫉妬もした。」と絶賛して外的な成功を裏付けている。本作の舵を取るのには、映像制作団体「世田谷センスマンズ」所属の松本佳樹監督。彼の革新的なアプローチは映画の枠を超え、独創的なビジョンと新しい創造の地平を開拓する。現代の情報社会を反映した独特の撮影・編集技法で、観客はSNSの情報の渦の中に見えるような体験をすることだろう。劇場での鑑賞は、映画ファンならずとも一見の価値有りだ。

STORY

「UFOのまち」から広がる物語は、まさにUFOの目撃証言を断片的に切り貼りしたかのような映像で紡がれ、やがてそれらはモザイク画のごとくぼんやりとした事件の全体像を描き出す。果たしてこれは宇宙を巻き込んだSF映画なのか？ はたまた等身大のヒーロードラマなのか？ 事実と空想が交錯する複雑怪奇な地球星人奇譚を目撃せよ。

我々は、地球人である前に宇宙人だ。

正義感が強く、ウツが許せない雑誌記者 宇藤の元に舞い込んだのは「UFOのまち」石川県羽咋市で起きた「大学生エイリアンアブダクション事件」のネタ。ウツを暴いてやろうと取材を始めるが、調査を進めるほどにエイリアンアブダクションを裏付ける証拠が見つかり、さらに自分が宇宙人だと名乗る女子高生、乃愛も現れ、宇藤は不可解な事件の沼に嵌っていく。



田中祐吉 山田なつき
中村更紗 村松和輝 アライジン 星能豊 ひろえるか
小夏いつこ 町田英太郎 大城規彦 西村優太郎 西並しお
監修: 松本佳樹 監督補佐: 北林佑基 撮影: 常川千秋
製作: 世田谷センスマンズ 配給: 工藤夏哉
2023/日本/99分/カラー/DCP/シネスコ

5/11(土) ~24(金) レイトショー

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿いコモンズ左入ル
新宿 K's cinema
03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com
各回入替・全席指定席

7/20(土)~

cinémonde TOKYU SQUARE KORINBO
石川県金沢市春林坊2-1-1 春林坊東急スクエア4F
076-220-5007 www.cine-monde.com



JACK!
発売中!
特別鑑賞券
1,500円(税込)
詳しい情報はこちら

SKIP シティ
国際Dシネマ映画祭2023
国内コンペティション
優秀作品賞(長編部門)

SKIP シティ
国際Dシネマ映画祭2023
SKIPシティアワード

第36回
東京国際映画祭
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭
受賞作品上映

第24回
TAMA NEW WAVE
ある視点部門入選

エイリアン 地球なす 地空想 星人る



我々は、地球人である前に宇宙人だ。

田中祐吉 山田なつき

中村更紗 村松和輝 アライジン 皇能豊 ひろえるか
小夏いっこ 町田英太郎 大城規彦 西村優太郎 西よしお
監督：松本佳樹 監督補佐：北林佑基 撮影：常川千秋
製作：世田谷センスマンス 配給：工藤嘉哉 2023/日本/99分/カラー/DCP/シネスコ